

9月10日[Sat]

ラジオ作りに挑戦！



▲指導を受けながらラジオを作る本田さん

電波の基本を学び、ラジオ工作を体験する「電波教室・ラジオ工作教室」(主催:多久市中央公民館/協力:佐賀県電波適正利用推進員協議会)が初めて開催され、多久市内の義務教育学校から児童・生徒11人と保護者8人が参加しました。

会場では電波の特性などが分かる講座の後、細かい部品を接合させてトランジスタラジオを作成。完成したラジオから音が流れると、参加者は笑顔で喜びました。竹下誠志郎さん(西溪校4年)は「難しかったけど楽しかった。また参加したいです」、本田悠真さん(東部校3年)は「初めてハンダ付けをしました。もっと作ってみたいです」と、楽しそうに感想を話されました。

9月21日[Wed]

セーフティライン作戦多久を実施



▲ハンドポップを掲げて安全運転を促しました

小城警察署、多久地区交通安全協会、多久市交通安全指導員会、多久市役所の関係者らが集まり、多久市役所前交差点で「セーフティライン作戦多久」を実施しました。

秋の交通安全県民運動の一環として多久市交通対策協議会が取り組んでいるもので、今年で4回目。国道沿いにハンドポップを掲げて並び、通行中のドライバーに向けて安全運転を呼びかけました。

小城警察署多久幹部派出所の松尾直義所長は「事故の多い通勤時に注意喚起をしました。ドライバーのみなさんが意識してくれたら、事故の減少につながると思います」と話されました。

11月、12月は交通事故が増える時期ですので、みなさん気を付けましょう。

9月22日[Thu]

初の化学テロ対処訓練を実施



▲防護服を着て訓練に臨む消防隊員

テロ対処訓練が多久聖廟で実施され、初となる化学物質を使用したテロを想定した訓練も行われました。

有毒物質とされる液体により参拝客が倒れた想定で訓練。孔子の里、警察、消防、県警機動隊が、通報から液体回収までしっかり連携・対処できるよう、一連の流れをとおして心構えと実際の動きを確認しました。

孔子の里の田中穂積常務理事は「多久聖廟には年2回の釈菜や年末年始、受験祈願などで年間4万人が参拝されます。関係機関の担当者も参加でき非常に参考になったので、有事の際は確実に対処していきたい」と話されました。

もくじ

- 02 まちの話題
- 04 特集1 多久の炭鉱
- 06 特集2 新型コロナ ウイルス対策事業
- 08 特集3 財政公表
- 12 多久市からのお知らせ
- 17 あじさいへ行こう！
- 18 教育委員会だより
- 19 市長コラム
- 20 健康ノススメ
- 22 おたっしゅだより
- 24 まちのPickUPインフォメーション
- 28 Hi! POSE ほか

今月の論語

君子くんしは義ぎにさ諭さとり
小人しょうじんは利りにさ諭さとる

君子くんし諭さとれレ於レ義ぎ、小人しょうじん諭さとれレ於レ利り。

出典…里仁第四

君子は何事も人の正しい道を考え、小人(徳のない人)は何事も自分の利益に結び付ける

今月の帰宅放送は、東原岸舎東部校9年の川原姫菜子さんです。

